

# 農山漁村発イノベーションの推進について

---

令和5年1月  
農林水産省 農村振興局

# 新たな食料・農業・農村基本計画（令和2年3月閣議決定）における農村の振興に関する施策（概要）

農村、特に中山間地域においては、少子高齢化・人口減少が都市に先駆けて進行する一方で、「田園回帰」による人の流れが全国的な広がりを持ちながら継続しているなど、農村の持つ価値や魅力が国内外で再評価され、多様なライフスタイルの普及や、関係人口の拡大等により地域活性化に貢献する動きがみられる。このような最近の変化にも的確に対応しつつ、**関係府省、都道府県・市町村、事業者が連携・協働し、「地域政策の総合化」を図る。**

## しごと

### （1）地域資源を活用した**所得と雇用機会**の確保

- ① 中山間地域等の特性を活かした**複合経営等の多様な農業経営**の推進
- ② **地域資源の発掘・磨き上げ**と**他分野との組合せ**等を通じた**所得と雇用機会**の増大
  - ・ **農村発イノベーション**※をはじめとした地域資源の高付加価値化
  - ・ 農泊、ジビエ、農福連携 等
- ③ **地域経済循環**の拡大
  - ・ バイオマス・再生可能エネルギー、農畜産物等の地域内活用・消費
  - ・ 農村におけるSDGs達成に向けた取組
- ④ **多様な機能を有する都市農業**の推進

+

食料・農業政策

## くらし

### （2）中山間地域等をはじめとする**農村に人が住み続けるための条件整備**

- ① **地域コミュニティ機能**の維持や強化
  - ・ 世代を超えた人々による地域のビジョンづくり
  - ・ 放牧等の多様な土地利用方策とそれを実施する仕組みの構築
  - ・ 「小さな拠点」の形成
  - ・ 地域コミュニティ機能の形成のための場づくり
- ② **多面的機能の発揮**の促進
- ③ **生活インフラ**等の確保
  - ・ 情報通信環境の確保
  - ・ 地域内交通の確保・維持 等
- ④ **鳥獣被害対策**等の推進

※農村発イノベーション

活用可能な農村の地域資源を発掘し、磨き上げた上で、これまでにない他分野と組み合わせる取組

## 活力

### （3）**農村を支える新たな動きや活力**の創出

- ① **地域を支える体制及び人材づくり**
  - ・ **地域運営組織**の形成
  - ・ 地域内の**人材の育成**及び確保
  - ・ **関係人口**の創出・拡大や関係の深化を通じた**人材の裾野の拡大** 等
- ② **農村の魅力の発信**
  - ・ 半農半X、デュアルライフ（二地域居住）などの**多様なライフスタイル**の提示
  - ・ 農的暮らしなどの**多様な農への関わり**への支援体制の構築
  - ・ 棚田地域の振興と**魅力の発信** 等
- ③ **多面的機能に関する国民の理解の促進**等

+

食料・農業政策

## 仕組み

### （4）「3つの柱」を継続的に進めるための関係府省で連携した**仕組みづくり**

- **農村の実態や要望**について、農林水産省が中心となって、都道府県・市町村、関係府省、民間とともに、現場に出向いて**直接把握**し、把握した内容を調査・分析した上で、**課題の解決**を図る取組を継続的に実施するための**仕組みの構築**

# 農山漁村発イノベーションに係る政府方針等

- 農山漁村発イノベーションの推進については、食料・農業・農村基本計画をはじめとして各種の政府方針等において位置づけ。

## 「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月 閣議決定）

農村を舞台として新たな価値を創出し、所得と雇用機会の確保を図るため、「農村発イノベーション」（活用可能な農村の地域資源を発掘し、磨き上げた上で、これまでにない他分野と組み合わせる取組）が進むよう、農村で活動する起業家等が情報交換を通じてビジネスプランを磨き上げることができるプラットフォームの運営など、多様な人材が農村の地域資源を活用して新たな事業に取り組みやすい環境の整備などにより、現場の創意工夫を促す。

## 「地方への人の流れを加速化させ持続的低密度社会を実現するための新しい農村政策の構築」

（令和4年4月 新しい農村政策の在り方に関する検討会 長期的な土地利用の在り方に関する検討会 とりまとめ）

（前略） 今後は、地域全体としての所得向上のため、従来の農業者が加工・販売などにも取り組む6次産業化の取組をこれまで以上に加速化するとともに、その考え方を拡張し、農村が有する地域資源を発掘し、その価値を磨き上げた上で、農業以外も含む他分野と「農村資源×〇〇」の様々な形で組み合わせることや、地域内外の幅広い関係者との新たな連携、関連産業の技術の活用等により、新たな事業・価値の創出や所得向上を図る取組である「農山漁村発イノベーション」を推進し、また、その支援の在り方を多面的に検討することが重要である。

## 新しい資本主義実行計画「フォローアップ」（令和4年6月 閣議決定）

農山漁村発イノベーションのコーディネーターを派遣して、デジタル技術も活用し、2025年度までにモデル事例を300事例創出する。（後略）

## 「農林水産業・地域の活力創造プラン」（令和4年6月 農林水産業・地域の活力創造本部決定）

（前略） また、多様な形で農山漁村に関わる者の参入を促進し、農泊、農福連携、ジビエをはじめ、農山漁村のあらゆる地域資源をフル活用した「農山漁村発イノベーション」を推進するなど、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図る。

<目標> 農山漁村発イノベーションのモデル事例を2025年度までに300事例創出

## 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（令和4年12月 閣議決定）

・多様な形で農に関わる経済主体による所得確保手段の多角化が図られるよう、デジタル技術の活用に係る専門人材の派遣・育成等により、「農山漁村発イノベーション」を推進し、優良事例の更なる横展開を図る。（後略）

# 農山漁村発イノベーションによる雇用・所得の創出

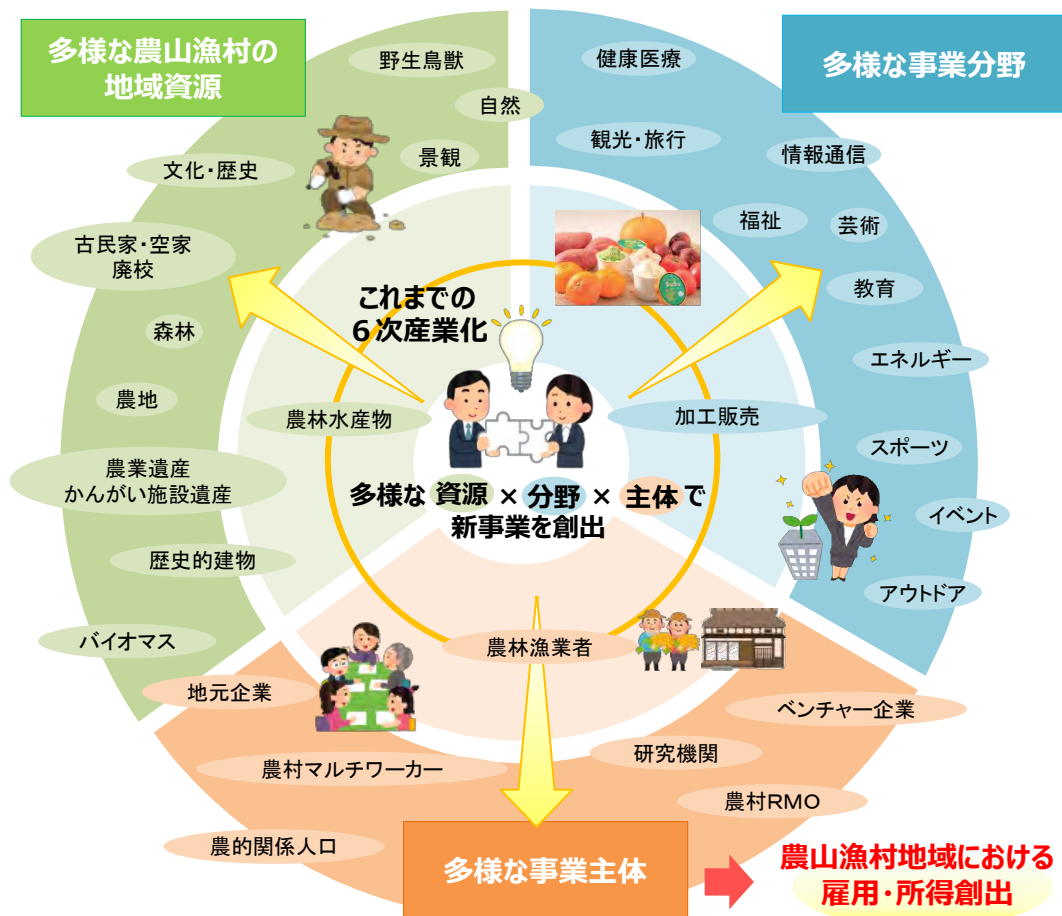
## <対策のポイント>

「農山漁村発イノベーション」とは、従来の6次産業化を発展させて、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、農林漁業者はもちろん、地元の企業なども含めた多様な主体の参画によって新事業や付加価値の創出を図る取組です。

## <事業の全体像>

### 農山漁村発イノベーション

- 農山漁村のあらゆる地域資源をフル活用した取組を支援
- 他産業起点の取組など他分野との連携を一層促進



### 農山漁村発イノベーションの事例

#### 「農産物、景観」 × 「加工販売、観光・旅行」 × 「農林漁業者、地元企業」

タケノコや栗の加工販売に加え、美しい竹林景観を活かして、映画のロケ地や観光商品として活用。  
(栃木県宇都宮市)



#### 「森林」 × 「スポーツ」 × 「ベンチャー企業」

森林をフィールドとしたサバイバルゲーム事業を行うとともに、参加料の一部を森林所有者にも還元。  
(栃木県壬生町)



#### 「農産物」 × 「加工販売、観光旅行、教育」 × 「農林漁業者、地元企業」

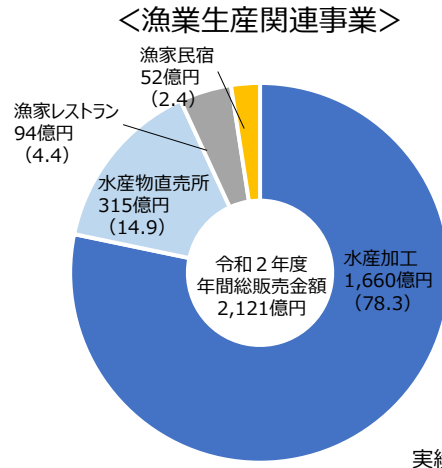
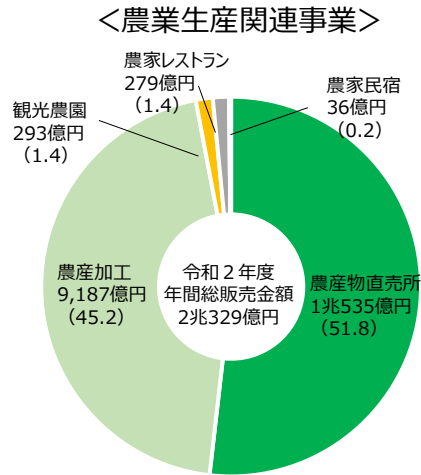
6次産業化による農産加工品の製造・販売のほか、食育体験や収穫体験など豊富なメニューの取組を展開。  
(長崎県大村市)



# 農山漁村発イノベーションの市場規模

- 令和2年度の6次産業化総合調査によれば、6次産業化に相当する農業・漁業生産関連事業の年間総販売金額のうち、加工・直売分野が農業生産関連事業では97%、漁業生産関連事業では約93%となっており、直売と加工が大半を占めている。
- 6次産業化の加工・直売の市場規模は、令和2年度が合計2.2兆円となっている。

## ○農業・漁業生産関連事業の年間総販売金額（全国）



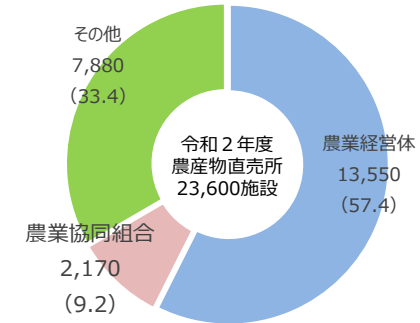
実績値：令和2年度

## (参考)農産物直売所の現状

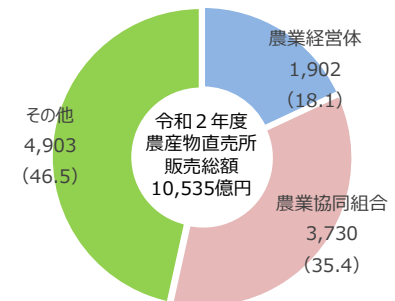
※最も売り上げが大きい項目を抽出

- 直売所は、全国で約24,000カ所、年間総販売額は約1.1兆円。
- 運営主体別販売総額では、直売所全体の57.4%を占める農業経営体の販売総額の割合は18.1%に対し、全体の9.2%である農業協同組合が35.4%。

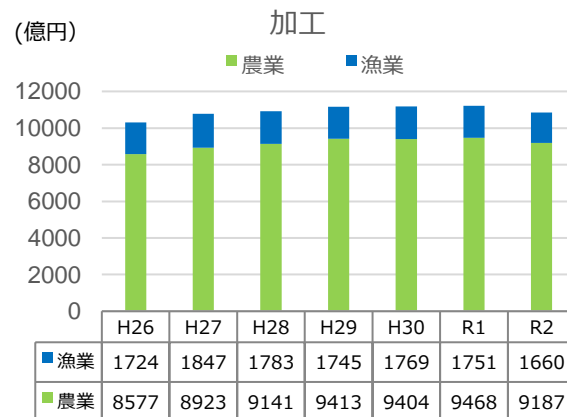
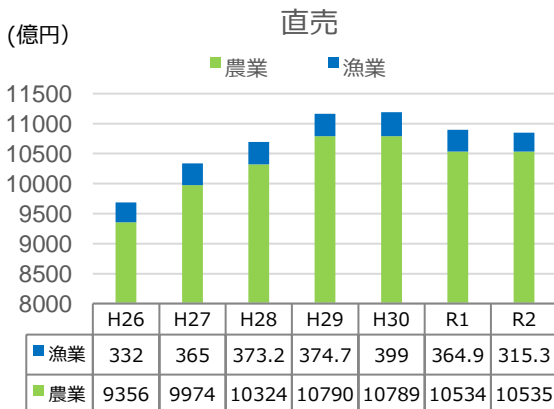
### ＜運営主体別の農産物直売所数＞



### ＜運営主体別販売総額（億円）＞



## ○6次産業化の市場規模の推移



# 農山漁村発イノベーションに関する支援策

---

## <対策のポイント>

農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、新事業や付加価値を創出することによって、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図る取組等を支援します。

## <事業目標>

農山漁村発イノベーションに取り組んでいる優良事業体数の増加（100事業体 [令和7年度まで]）等

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 農山漁村発イノベーション推進事業 <sup>※1</sup>

- ① 地域活性化に向けた活動計画策定、関係人口創出、地域づくり人材育成、情報発信等を支援します。
- ② 地域資源を活用した商品開発、デジタル技術の活用に係る専門人材の派遣・育成等を支援します。
- ③ 農泊の実施体制の整備、観光コンテンツの磨き上げ等の取組を支援します。
- ④ 農福連携の普及啓発、障害者等の農林水産業に係る技術の習得、専門人材の育成等を支援します。

### 2. 農山漁村発イノベーション整備事業 <sup>※1</sup>

- ① 農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援します。
- ② 農泊の推進に必要な古民家等を活用した滞在施設等の整備を支援します。
- ③ 農福連携の推進に必要な障害者等が作業に携わる生産施設等の整備を支援します。

※1 旧 地域活性化対策、旧 農山漁村発イノベーション対策、旧 農泊推進対策、旧 農福連携対策を再編  
 ※2 農山漁村振興交付金の全ての対策について活用が可能

## (関連事業)

### 農山漁村発イノベーション委託調査事業

農山漁村発イノベーション推進に係るエビデンスに基づく施策企画・立案の充実を図るため、所得創出効果等の施策効果を測定するための委託調査を実施します。

### 1. 農山漁村発イノベーション推進事業

#### ① 地域活性化型



地域住民による地域活性化のための活動計画づくり

#### ② 農山漁村発イノベーション創出支援型



地域資源を多分野で活用した商品・サービスの開発

#### ③ 農泊推進型



景観等を活用した観光コンテンツの開発

#### ④ 農福連携型



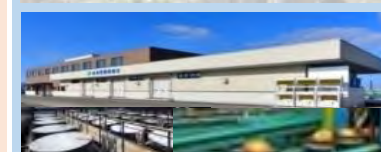
障害者等の農産物栽培技術の習得や専門人材の育成等

### 2. 農山漁村発イノベーション整備事業

#### ① 定住促進・交流対策型 産業支援型



農産物直売所の整備



集出荷・貯蔵・加工施設の整備

#### ② 農泊推進型



古民家等を活用した滞在型施設の整備

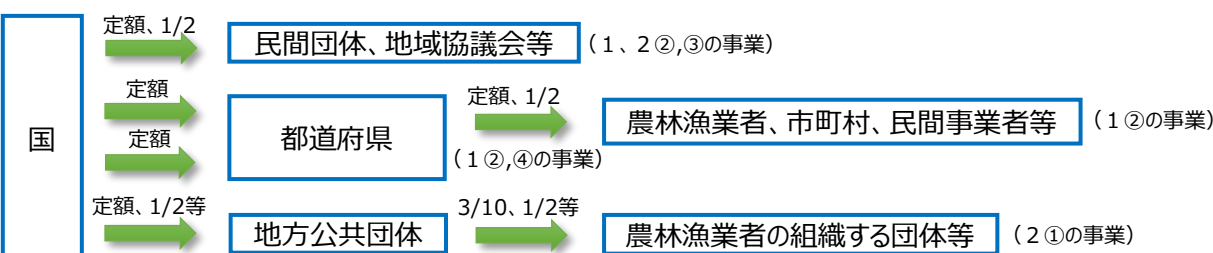
#### ③ 農福連携型



障害者等が作業に携わる生産施設の整備

## <事業の流れ>

※下線部は拡充内容



# 農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち 農山漁村発イノベーション推進事業（地域活性化型）

【令和5年度予算概算決定額 9,070（9,752）百万円の内数】

## <対策のポイント>

農山漁村の自立及び維持発展に向けて、地域住民が生き生きと暮らしていける環境の創出を行うためのきっかけをつくり、農山漁村について広く知ってもらうことを入口に、農的関係人口創出、二拠点居住、移住、定住の実現を図り、農山漁村の活性化を推進します。

## <事業目標>

地域課題の抽出や、課題解決のための活動計画の策定・実証を行う地域の創出（100地域 [令和6年度まで]）

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 活動計画策定事業

- ① 農山漁村が持つ豊かな地域資源を活用した地域の創意工夫による**地域活性化に向けて、アドバイザーを活用したワークショップ**等を通じた**地域の活動計画策定**を支援します。
- ② **活動計画に掲げられた取組を実施するための体制構築、実証活動及び専門的スキルの活用等**を支援します。

【事業期間】 3年間

【交付率】 定額（上限：1年目500万円、2年目250万円等）※

※条件不利地においては、交付期間の延長・上限額の加算措置あり。また、専門的スキルを活用する場合には、交付期間の延長・上限額の加算措置あり。



地域の活動計画の策定  
（ワークショップの開催）



体制構築及び実証活動  
（高齢者の移動確保）

### 2. 農山漁村関わり創出事業

- ① 農繁期の手伝いや地域資源の保全等の農山漁村での様々な活動について、**農山漁村に興味がある多様な人材が関わることができる仕組みを構築**する取組等を支援します。
- ② 農山漁村の**地域づくりを担う人材（農村プロデューサー）の育成等**を支援します。

【事業期間】 上限2年間等

【交付率】 定額



農作業体験



農山漁村の多様な活動への参加



### 3. 農山漁村情報発信事業

農山漁村のポテンシャルを引き出して**地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例の横展開**や、歴史的・文化的背景、景観等を含む**農業・農村の有する多様な価値**について主に若年層等を対象とした**理解醸成等**のための**情報発信の取組**を支援します。

【事業期間】 1年間

【交付率】 定額

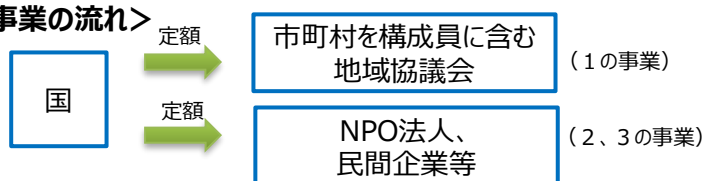


WebサイトやSNSによる  
優良事例の情報発信



農業農村の多様な価値の理解醸成

## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】

(1の事業、2①の事業)	農村振興局都市農村交流課	(03-3502-5946)
(2②の事業)	農村計画課	(03-6744-2203)
(3の事業のうち優良事例の横展開)	都市農村交流課	(03-3502-5946)
(3の事業のうち理解醸成等)	鳥獣対策・農村環境課	(03-6744-0250)



# 農山漁村発イノベーション推進事業（農山漁村発イノベーション創出支援型）

【令和5年度予算概算決定額 9,070（9,752）百万円の内数】

## <対策のポイント>

農山漁村発イノベーションを推進し、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図るため、農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を新分野で活用した商品・サービスの開発やこれらに係る研究開発、デジタル技術の活用に係る専門的な知識を有する人材の派遣・育成等を支援します。

## <事業目標>

農山漁村発イノベーションに取り組んでいる優良事業体数の増加（100事業体〔令和7年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 農山漁村発イノベーション推進支援事業

農山漁村発イノベーションの実施に必要な経営戦略策定、販路開拓、ビジネスアイデアの創出、研究・実証事業等の取組を支援します。

- （支援対象の取組）
- ① 2次・3次産業と連携した加工・直売の取組
  - ② 新商品開発・販路開拓の取組
  - ③ 直売所の売上向上に向けた多様な取組
  - ④ 多様な地域資源を新分野で活用する取組
  - ⑤ 多様な地域資源を活用した研究開発・成果利用の取組

### 2. 農山漁村発イノベーション中央サポート事業

- ① 中央サポートセンターにおいて、都道府県サポートセンターと連携し、農山漁村発イノベーションに係る高度な課題を抱える事業者等に対する中央プランナー等の専門家派遣の取組に加え、高度なデジタル技術の活用に係る専門的な知識を有する人材（デジタル人材）の派遣等を支援します。
- ② 農山漁村で新事業を興す起業家と農山漁村のマッチングの取組等を支援します。
- ③ 施設給食において、地産地消を促進するためのコーディネーターの派遣・育成の取組等を支援します。

### 3. 農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業

各都道府県のサポートセンターにおける、農山漁村発イノベーションに係る経営改善等の多様な課題を抱える事業者等への専門家派遣に加え、デジタル人材の派遣、地域におけるデジタル人材の育成の取組等を支援します。

※下線部は拡充内容

## <事業イメージ>

### 農山漁村発イノベーション推進支援事業

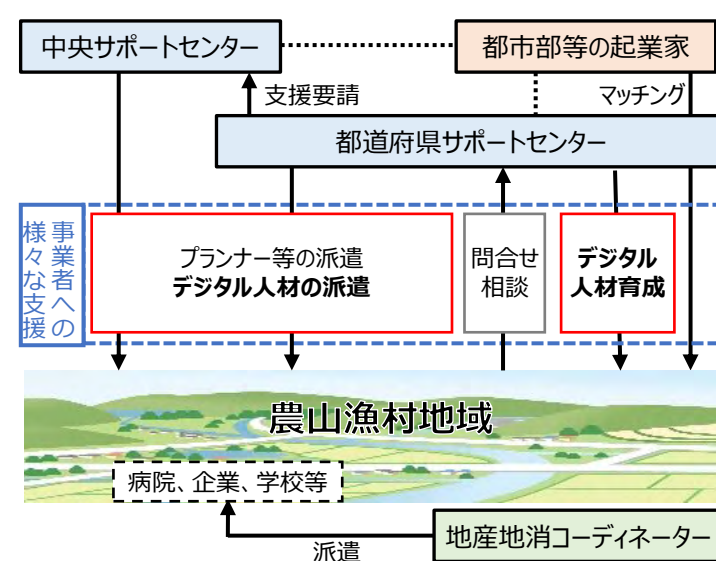


農産物を利用した新商品開発

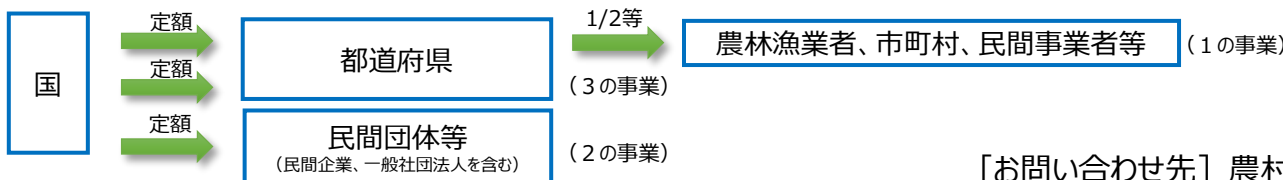


多様な地域資源を新分野で活用

### 農山漁村発イノベーション中央・都道府県サポート事業



## <事業の流れ>



# 農山漁村発イノベーション整備事業（定住促進・交流対策型及び産業支援型）

【令和5年度予算概算決定額 9,070（9,752）百万円の内数】

## <対策のポイント>

農山漁村の自立及び維持発展に向けて、地域資源を活用しつつ、農山漁村における定住・交流の促進、農業者の所得向上や雇用の増大を図るために必要となる農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援します。

## <事業目標>

- 農山漁村における施設整備による雇用者数の増加（140人〔令和7年度まで〕）
- 6次産業化に取り組んでいる優良事業体数の増加（93事業体〔令和7年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 農山漁村発イノベーション整備事業（定住促進・交流対策型）

都道府県や市町村が計画主体となり、農山漁村における定住・交流の促進、農業者の所得向上や雇用の増大等、農山漁村の活性化のために必要となる**農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援**します。

【事業期間】原則3年間（最大5年間）

【交付率】1/2等

### 2. 農山漁村発イノベーション整備事業（産業支援型）

農林漁業者等が多様な事業者とネットワークを構築し、制度資金等の融資又は出資を活用して6次産業化に取り組む場合に必要となる、**農産物加工・販売施設等の整備に対して支援**します。

なお、非接触・非対面での作業に対応した加工・販売施設等の整備も可能です。

【事業期間】原則1年間

【交付率】3/10等

**再生可能エネルギー発電・蓄電・給電設備**については、1又は2の**施設整備と同時に設置**する場合に加え、**既存の活性化・6次化施設に追加して設置**する場合も支援します。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 定住促進・交流対策型

- **計画主体** 都道府県、市町村※1 ※1 農山漁村活性化法に基づく活性化計画の作成が必要
- **事業実施主体** 都道府県、市町村、農林漁業者団体等



農産物直売所



廃校を利用した交流施設



集出荷・貯蔵・加工施設

### 産業支援型

- **事業実施主体** 農林漁業者団体※2  
中小企業者※3

※2 六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定が必要

※3 農商工等連携促進法に基づく農商工等連携事業計画の認定が必要



農産物処理加工施設



農家レストラン

### 発電設備等の整備



太陽光発電設備

販売・交流施設等

電力供給



EV車等への給電設備

【お問い合わせ先】

(1の事業) 農村振興局地域整備課 (03-3501-0814)

(2の事業) 都市農村交流課 (03-6744-2497)

# 農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち 農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農泊推進型）

【令和5年度予算概算決定額 9,070（9,752）百万円の内数】

## <対策のポイント>

農山漁村の活性化と所得向上を図るため、地域における**実施体制の整備**、食や景観を活用した**観光コンテンツの磨き上げ**、ワーケーション対応等の**利便性向上**、国内外への**プロモーション**等を支援するとともに、古民家等を活用した**滞在施設**、**体験施設の整備**等を一体的に支援します。

## <事業目標>

都市と農山漁村の交流人口の増加（1,540万人〔令和7年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農泊推進型）

#### ① 農泊推進事業

ア 農泊の**推進体制整備**や観光関係者とも連携した**観光コンテンツの開発**、**Wi-Fi等の環境整備**、**新たな取組に必要な人材確保**等を支援します。

【事業期間】 上限2年間 【交付率】 定額（上限500万円/年等）

イ 実施体制が整備された農泊地域を対象に、**インバウンド受入環境の整備**や**ワーケーション受入対応**、**地元食材・景観等を活用した高付加価値コンテンツ開発**等を支援します。

【事業期間】 上限2年間 【交付率】 1/2等

#### ② 広域ネットワーク推進事業

**戦略的な国内外へのプロモーション**、農泊を推進する上での課題を抱える地域への**専門家派遣・指導**、**利用者のニーズ等の調査を行う取組**等を支援します。

【事業期間】 1年間 【交付率】 定額

### 2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農泊推進型）

#### ① 農泊の推進に必要な**古民家等**を活用した**滞在施設**、**一棟貸し施設**、**体験・交流施設**等の整備を支援します。

【事業期間】 上限2年間 【交付率】 1/2（上限2,500万円※）

（※ 遊休資産の改修：上限5,000万円、市町村所有の遊休資産を宿泊施設として改修：上限1億円）

#### ② 地域内で営まれている**個別の宿泊施設の改修**を支援します。

（農家民泊から農家民宿へ転換する場合、促進費が活用可能）

【事業期間】 1年間 【交付率】 1/2（上限1,000万円/経営者かつ5,000万円/地域）

## <事業イメージ>

### インバウンド受入環境の整備



多言語への対応



Wi-Fi環境の構築



トイレの洋式化



地元食材・景観等を活用した高付加価値コンテンツの開発

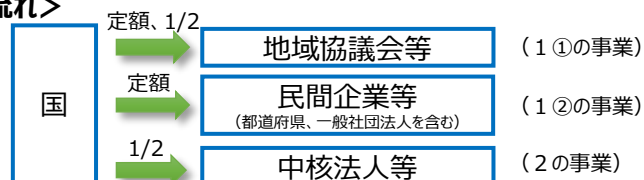


課題に応じた専門家の派遣・指導



古民家等を活用した滞在施設の整備

## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農村振興局都市農村交流課（03-3502-5946）

# 農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち 農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農福連携型）

【令和5年度予算概算決定額 9,070（9,752）百万円の内数】

## <対策のポイント>

農福連携の一層の推進に向け、**障害者等の農林水産業に関する技術習得、障害者等に農業体験を提供するユニバーサル農園※の開設**、障害者等が作業に携わる**生産・加工・販売施設の整備**、全国的な展開に向けた**普及啓発、都道府県による専門人材育成の取組**等を支援します。

※ 農業分野への就業を希望する障害者等に対し農業体験を提供する農園

## <事業目標>

農福連携に取り組む主体を新たに創出（3,000件 [令和6年度まで]）

## <事業の内容>

### 1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）

#### ① 農福連携支援事業

障害者等の農林水産業に関する技術習得、作業工程のマニュアル化、ユニバーサル農園の運用、移動式トイレの導入等を支援します。

【事業期間】 2年間

【交付率】 定額（上限150万円等）

#### ② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業

農福連携の全国的な横展開に向けた取組、農福連携の定着に向けた**専門人材の育成**等を支援します。

【事業期間】 1年間

【交付率】 定額（上限500万円等）

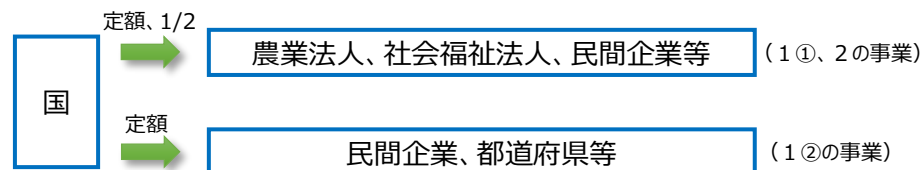
### 2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）

障害者等が作業に携わる**生産施設、ユニバーサル農園施設、安全・衛生面にかかる付帯施設等の整備**を支援します。

【事業期間】 最大2年間

【交付率】 1/2（上限1,000万円、2,500万円等）

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）

#### ① 農福連携支援事業



農産加工の実践研修



養殖籠補修・木工技術習得



移動式トイレの導入



ユニバーサル農園の運用

#### ② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業



普及啓発に係る取組



人材育成研修

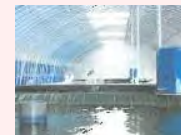
### 2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）



農業生産施設（水耕栽培ハウス）



苗木生産施設



養殖施設



休憩所、トイレの整備



園地、園路整備



処理加工施設

# 農林水産省の起業促進プラットフォーム「INACOME」

- 平成30年秋に農山漁村において地域資源を活用した多様なビジネスの創出を促進するための起業促進プロジェクト「INACOME」(イナカム)を始動。
- 情報交換を通じてビジネスプランの磨き上げや互いに切磋琢磨できる環境を整備するとともに、起業に関する施策の情報発信や**ビジネスプランコンテスト**等を実施。令和4年度は令和5年2月18日にビジネスプランコンテストを開催。
- 令和元年9月末には**オンライン上で起業者や起業支援者が交流できるプラットフォーム**を開設し、令和4年12月現在の加入者数は約2,100名。
- 令和2年からは、**起業者と地域課題のマッチングプログラム**を実施。

Webプラットフォーム

<https://inacome.jp/>



## プラットフォームの概要・機能



## プラットフォームの活用事例

### 事業展開に必要なパートナーを探す場として活用

⇒ 市場分析やデザインを強化したい地域起業者からの相談を受けて、事務局がプラットフォーム加入者から候補者を紹介。その後、事務局、相談者、候補者で合意点を模索。

## 令和3年度開催のビジコンの様子



(10名のファイナリストによる発表)



(審査の様子)

### コミュニティ機能

自分のニーズに合った地域内外のコミュニティに参加して情報交換できる！

### メンバー&支援者検索

全国の同業者や、地域の起業者・支援団体・有識者と繋がることできる！

### 動画セミナー

起業や事業拡大に役立つセミナーを自宅で受講できる！

### 事例記事

全国各地の起業・新規事業展開の成功事例を学べる！

### イベント案内

経営支援や資金調達支援など様々なイベントの情報が手に入る！

### 個別相談

起業支援団体の専門家や現役の起業家に経営相談できる！

最優秀賞

さくらい きょうこ  
**櫻井 杏子**（株式会社INGEN）千葉県松戸市

## 産地の師匠の栽培指導と若手をつなぐIT



- ・栽培指導をカルテ・オンライン化するIT「農の相棒Mr.カルテ」を開発。
- ・生産量・品質に大きな影響を与える「病害虫予防」について、指導者の防除等栽培歴をあらかじめアプリ内で共有。
- ・指導者にリモートでの相談が可能で、新規就農者が抱える悩みを解決し、新規就農者の離農を抑制。

特別賞

わたなべ しんのすけ  
**渡部 真之助 氏**（(株)フォレストーリー）栃木県壬生町

## 伐採予定地で行うサバイバルゲーム事業



- ・山主に活用されていない山を借りてサバイバルゲームフィールドに構築し、サバイバルゲームのイベントを開催。
- ・参加料の一部を山主に還元し山林管理費に充当。
- ・地域資源を活用して新たな収益源を生み出し、適切な山林管理を行うことができる仕組みの構築を図る。

# 「ディスカバー農山漁村の宝」について



「ディスカバー農山漁村の宝」とは、自立した「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る取組

## ■ 平成26年度の開始以来、286件を選定

- 第6回選定（R1年度）から個人部門を選定。第8回選定（R3年度）から有識者懇談会委員ごとの特別賞を新設するなど、新たな選定方針により実施。

	第1回 (H26)	第2回 (H27)	第3回 (H28)	第4回 (H29)	第5回 (H30)	第6回 (R1)	第7回 (R2)	第8回 (R3)	第9回 (R4)	計
選定件数	23	27	30	31	32	36(5)	32(4)	38(4)	37(4)	286(17)
グランプリ (GP)・ 優秀賞等	-	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 8
		特別賞3	特別賞4	特別賞5	特別賞5	部門賞5	部門賞5	優秀賞等 15	優秀賞等 15	優秀賞等 57

・( )は個人の選定件数

## ■ 有識者懇談会により選定地区を決定

- 有識者懇談会には、有識者のほか、内閣官房長官、農林水産大臣、地方創生担当大臣、内閣官房副長官が御出席

### 有識者懇談会委員

あん・まくどなるど	上智大学大学院教授、慶應義塾大学特任教授
今村 司	(株)読売巨人軍代表取締役社長
織作 峰子	大阪芸術大学教授、写真家
田中 里沙	事業構想大学院大学学長、(株)宣伝会議取締役
永島 敏行	俳優、(有)青空市場 代表取締役
林 良博 (座長)	国立科学博物館顧問、東京大学名誉教授
藤井 大介	(株)大田原ツーリズム代表取締役社長
三國 清三	オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ
向笠 千恵子	フードジャーナリスト、食文化研究家
横石 知二	(株)いもどり 代表取締役社長

(五十音順、敬称略)

## ■ 受賞体系（第9回選定）



## ■ 総理大臣官邸で選定証授与式と交流会を開催 (写真は第9回選定、令和4年12月)



農林水産大臣、内閣府大臣政務官と記念撮影



内閣総理大臣と選定地区の交流



内閣総理大臣、内閣官房長官等と選定地区代表者で全体記念撮影

## ■ 知名度向上等に向けて多様な取組を実施



専用WEBサイト、SNSによる情報発信 (平成31年4月～)



これまでの選定地区が一堂に会したサミットの開催 (令和元年6月 @東京ミッドタウン)



# 「ディスカバー農山漁村の宝」 (第9回選定) 選定地区一覧

**四国**

【棚田保全、デジタル化、農村環境・景観保全】

**No.28 徳島県 上勝町**  
かみかつ棚田未来づくり協議会

【水産業、デジタル化】 **特別賞**

**No.29 徳島県 海陽町**  
株式会社リプル

【6次産業化、農泊】

**No.30 香川県 三木町**  
株式会社山南営農組合

【シビエ、森林・林業、若者の活躍】 **特別賞**

**No.31 高知県 高知市**  
高知商業高等学校  
シビエ商品開発・販売促進部

【6次産業化、企業との連携、雇用】 **優秀賞**

**No.32 高知県 四万十町**  
株式会社四万十ドラマ

**中国**

【移住・定住、農村環境・景観保全、若者の活躍】 **特別賞**

**No.23 鳥取県 鳥取市**  
NPO法人 bankup

【農村文化体験、グリーン化、食育・教育】 **優秀賞**

**No.24 鳥根県 奥出雲町**  
大石 亘太

【企業との連携、グリーン化】 **優秀賞**

**No.25 岡山県 岡山市**  
瀬戸内かきからアグリ推進協議会

【6次産業化、棚田保全、農村環境・景観保全】

**No.26 岡山県 久米南町**  
上和みろく農場協議会

【農業、6次産業化、雇用】

**No.27 広島県 三次市**  
川西自治連合会

**近畿**

【農泊、農村文化体験、地産地消】 **優秀賞**

**No.20 京都府 伊根町**  
伊根浦地区農泊推進地区協議会

【農村環境・景観保全、教育機関との連携】

**No.21 兵庫県 三木市**  
東播用水土地改良区

【企業との連携、教育機関との連携、若者の活躍】

**No.22 和歌山県 有田川町**  
有田川町×龍谷大学



**北海道**

【農業・水産業、農泊】 **優秀賞**

**No.01 北海道 網走市**  
オホーツク農山村活用体験型  
ツーリズム推進協議会

【6次産業化、若者の活躍】

**No.02 北海道 士別市**  
株式会社イナゾーフาร์ม

【地産地消、デジタル化】

**No.03 北海道 恵庭市**  
恵庭かのな協同組合

【農泊、農村環境・景観保全】 **特別賞**

**No.04 北海道 美瑛町**  
一般社団法人のまちびえい活性化協会

**関東**

【6次産業化、地産地消】 **特別賞**

**No.09 栃木県 那須町**  
稲作本店

【雇用、地産地消】

**No.10 千葉県 鋸南町**  
きよなん株式会社

【農村文化体験、棚田保全、農村環境・景観保全】 **特別賞**

**No.11 長野県 上田市**  
稲倉の棚田保全委員会

【輸出、棚田保全、雇用】

**No.12 長野県 伊那市**  
株式会社 Wakka Agri

**東北**

【6次産業化、関係人口の創出】

**No.05 岩手県 西和賀町**  
ユキノチカラプロジェクト協議会

【農村文化体験、移住・定住】

**No.06 宮城県 栗原市**  
一般社団法人はなびやまネットワーク

【地産地消、関係人口の創出、6次産業化】

**No.07 宮城県 丸森町**  
八島 哲郎

【復興、6次産業化、輸出】 **特別賞**

**No.08 宮城県 山元町**  
株式会社やまもとファームみらい野

**九州・沖縄**

【農泊、農村文化体験】 **特別賞**

**No.35 鹿児島県 南九州市**  
瀬川 知香

【農村文化体験、地産地消、関係人口の創出】

**No.36 鹿児島県 龍郷町**  
一般社団法人 E'more 秋名

【6次産業化、荒廃農地対策、農福連携】 **グランプリ**

**No.37 沖縄県 今帰仁村**  
株式会社沖縄 UKAMI 養蚕

【農村環境・景観保全、教育機関との連携】 **特別賞**

**No.33 熊本県 熊本市**  
天明環境保全隊

【6次産業化、農福連携、グリーン化】

**No.34 熊本県 小国町**  
社会福祉法人小国町社会福祉協議会

**東海**

【6次産業化、地産地消】

**No.16 岐阜県 恵那市**  
株式会社恵那川上屋

【6次産業化、農泊、棚田保全】

**No.17 愛知県 岡崎市**  
岡崎市めかたブランド協議会

【6次産業化、農福連携、地産地消】

**No.18 愛知県 犬山市**  
株式会社ココトモファーム

【地産地消、伝統の継承】 **特別賞**

**No.19 愛知県 大府市**  
高木 幹夫

**北陸**

【農村環境・景観保全、スポーツとの連携、デジタル化】 **特別賞**

**No.13 新潟県 十日町市**  
NPO法人越後妻有里山協働機構

【6次産業化、農村環境・景観保全】

**No.14 石川県 羽咋市**  
株式会社神子の里

【農業、シビエ】

**No.15 石川県 白山市**  
里山総合会社山立会

- : 「ビジネス・イノベーション部門」
- : 「コミュニティ・地産地消部門」
- : 「個人部門」



計：37地区





# 5 ユキノチカラプロジェクト協議会

— 豪雪をまちの力に変える「ユキノチカラ」 —

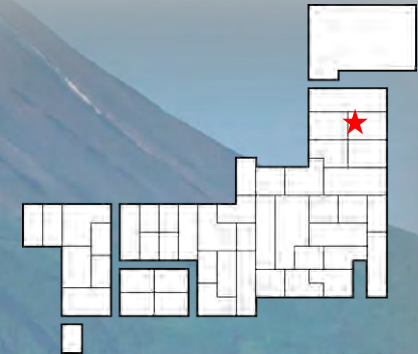


ユキノチカラブランド商品群

ビジネス・イノベーション部門

6次産業化

関係人口の創出



にしわがまち

所在地：岩手県 西和賀町



雪文化を体験する「ユキノチカラツアー」



- 役場、信金、事業者、デザイナー等が連携し、デザイン力で「魅力」を発信。プライベートブランドの開発商品数は30種類以上。
- 町内産食材を使った加工品等を地域全体での販促営業により地域ブランド化。2021ふるさと名品オブ・ザ・イヤー地方創生大賞受賞。



- 「豪雪」をデザイン力で「魅力」へ変えるという新たなコンセプトは、地域ブランドとして応援・共感するファンの増加に貢献。
- イベント開催・出展等の販促活動、メディアを活用したPRにより、町内事業者の売上増加と販路開拓に寄与。ツアーや雪の販売など、地域の話作りと交流人口の創出にも貢献。



地元高校と協働した社会学習「魅力発見ラゴ」



# 13

## NPO法人越後妻有里山協働機構

－ 棚田×アート×多様な人材による地域振興 －



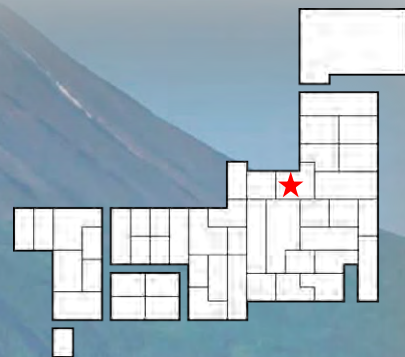
地元の方に指導してもらい田植えをする

コミュニティ・  
地産地消部門

農村環境・景観保全

スポーツとの連携

デジタル化



とおかまちし

所在地：新潟県 十日町市



ドローンを利用した農薬散布



- 新たなライフスタイルの提案、女子サッカー選手など多様な人材による棚田保全、アートによる地域活性化に寄与。
- ドローン、水位センサー等のスマート農業の導入により作業負担の軽減。棚田オーナー制度で都市部と地元住民の交流の機会を展開。



- 全国リーグを目指す女子サッカーチーム「FC越後妻有」をつくり、女子サッカー選手が農業の担い手となる一方で、サッカー教室や講演を実施し多数のメディアに掲載され活性化に寄与。
- 会員口数は774口（平成29年度）から919口（令和3年度）に増加。



稲刈りイベント参加者との記念撮影

# 里山総合会社山立会



# 15

— かせぐ！里山専門の総合会社つくりました —

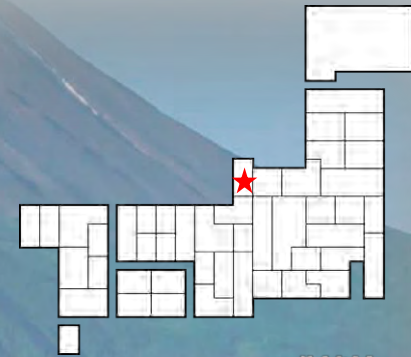


特大サイズの“でけえなめこ”が自慢

ビジネス・イノベーション部門

農業

ジビエ



はくさんし

所在地：石川県 白山市



荒廃農地での放牧飼育  
羊ふれあい体験も



## 概要

- ビジネスの力で里山を活性化するために、里山における多角経営と、視察研修等による情報発信を実施。
- 菌床なめこ生産を中心に、ジビエ販売、羊の飼育・販売、食堂など多角経営によって経営力を強化。

## 成果

- 羊の新ブランド肉の開発につながったほか、羊放牧やジビエ普及による里山の景観・環境保全にも貢献。
- 経営基盤となっているなめこの売上は、約90万円（平成30年度）から事業承継を経て約3,600万円（令和3年度）に増加。



# 20

## 伊根浦地区農泊推進地区協議会

『泊食分離で舟屋群が滞在エリアへ変貌』



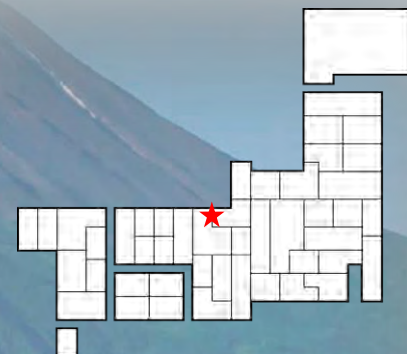
若狭湾に沿って230軒が立ち並ぶ「舟屋」

ビジネス・イノベーション部門

農泊

農村文化体験

地産地消



所在地：京都府 伊根町



舟屋を改修したモデル宿泊施設



小さなかご網漁「もんどり」体験

### 概要

- 地域内に230軒が立ち並ぶ舟屋を活用した宿泊施設と食事施設を整備。宿泊と食事を別施設で提供する「泊食分離」の実現によって宿泊施設の開業を促進。
- 町、酒蔵、水産関係者、交通事業者や金融機関等と連携し地域全体での農泊を推進。個人宅での小さな漁業「もんどり」、漁具づくり、刺身づくりなどの体験を提供。

### 成果

- 地域内の宿泊施設の売上が約8千万円（平成29年度）から約1.2億円（令和3年度）に増加。
- 地域内の宿泊施設数は、15軒（平成29年度）から28軒（令和3年度）に増加し、延べ宿泊数は約6千人（平成29年度）から約8千人（令和3年度）に増加。



# 37

## 株式会社沖縄UKAMI養蚕

— 未来へ紡ぐ小さな村の農福連携と沖縄シルク —



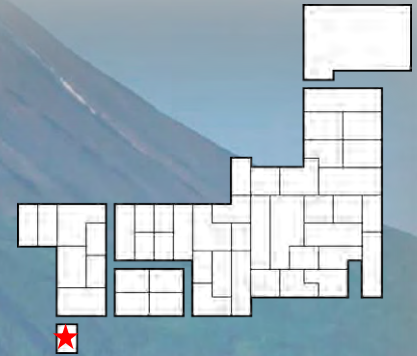
廃校を活用した養蚕の作業場

ビジネス・  
イノベーション部門

6次産業化

荒廃農地対策

農福連携



所在地：沖縄県 なまじんそん 今帰仁村



フランスでの自社ブランド商品



● 6次産業化により地域の生物資源「エリ蚕（神樹蚕）」から生産された沖縄シルクをスキンケア商品として加工し、ブランド化してフランスや中国にも進出。

● 養蚕と飼料生産に廃校と荒廃農地を活用するほか、養蚕施設の整備や飼料生産のための高齢者雇用、蛹と繭の選別のための農福連携など、地域の資源と人材を活用。

● 商品売上は400万円（令和元年度）から1,200万円（令和3年度）に、荒廃農地の活用は1.3ha（平成29年度）から2.4ha（令和3年度）に増加。

● 絹産業の非繊維分野へ進出に加えて、高齢者の健康長寿と、就労支援事業所の利用による障がい者の活躍と所得向上にも貢献。



荒廃農地を活用したキャッサバ畑（エリ蚕（神樹蚕）の餌）

## 農山漁村発イノベーションの事例

---



キーワード

内発的

女性

6次産業化

都市農村交流

○平成12年、農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。6次化による農産加工品の製造・販売、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。

### 基本情報

- 所在地：長崎県大村市
- 地域指定：平地農業地域
- 団体名：有限会社シュシュ
- 選定表彰：
  - 令和3年度農林水産祭「天皇杯」多角化経営部門
  - 令和2年度6次産業化優良事列表彰 農林水産大臣賞
  - 平成19年度全国地産地象活動優良表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：
  - ジェラート等、食育・農林漁業体験
- 活用している地域資源：農林水産物

### 取組の概要

- 農業テーマパーク構想の実現のため、一年中観光客が訪れる交流拠点「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。
- 地元農産物を生鮮品だけでなく、6次化による商品開発でジェラート、プリンなど多数商品化し販売。レストランではランチバイキングなどを提供。
- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会と連携した観光・体験農業を展開。



おおむら夢ファームシュシュ 外観写真

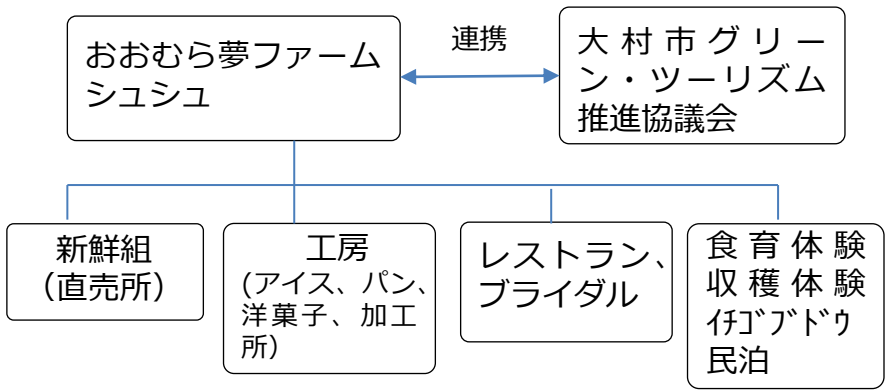


地元産の農産物を使用したジェラート



農業塾生と農家との交流の様子

### 体制図



### 取組の成果

- 6次化による売上高は3.2億円から3.9億円に増加（H26～H30）。
- 食育及び農業体験者数はともに増加しており合計約3万人（H30）。
- 常時雇用職員の8割が女性。従業員は季節雇用も含めて年間100名以上。

所在地▶長崎県大村市弥勒寺町486  
 連絡先▶TEL:0957-55-5288 FAX:0957-55-5323  
 E-mail:info@chouchou.co.jp  
 ウェブサイト▶http://chouchou.co.jp/



キーワード

内発的

企業

都市農村交流

教育

デザイン

○平成27年設立の飛驒市が出資する第三セクター、通称「ヒダクマ」。これまで向き合っていなかった広葉樹を地域資源として安定かつ継続的にその価値を高め、商品として加工、流通。また、飛驒の匠の技を歴史・文化として発信。

### 基本情報

- 所在地：岐阜県飛驒市
- 地域指定：都市農業地域
- 団体名：株式会社飛驒の森でクマは踊る
- 選定表彰：  
H27「東海農政局ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定
- 主力商品・イベント：広葉樹・体験ツアー
- 活用している地域資源：農林水産物（木材）
- 主な国等の支援策：農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

### 取組の概要

- チップにしかならず安価で飛驒市外に流出していた小径の広葉樹を、民間企業が有するデザインやクリエイティブの力で斬新な家具、什器、内装材等の商品を開発し販売。また、そうした取り組みを国内外に向けて積極的に発信。
- これまで地域になかった森林・木材に関する体験ツアーを企画・実施。また、海外の建築家を目指す学生等に学びの場を提供。



企業による木材関係商品開発合宿

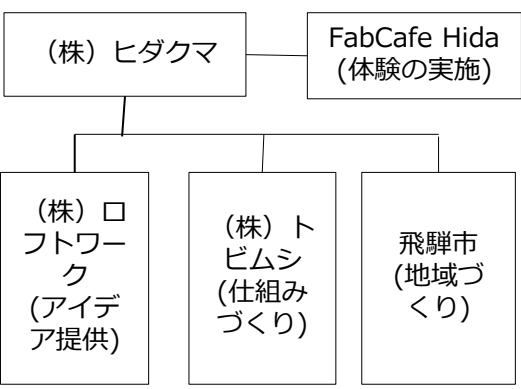


木工体験ワークショップ



海外大学のものづくり合宿（インバウンド）

### 体制図



チップになる小径広葉樹から作ったスツール

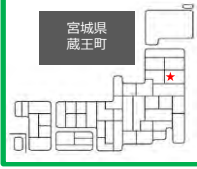
### 取組の成果

- 木製品等の売上は約430万円から約9,300万円（H27～R1）に増加。
- これまでに開催した体験プログラムの参加者は延べ約3,000人。宿泊者は延べ約1,000人。海外からはこれまでに約15か国、延べ約300人が滞在。



所在地▶岐阜県飛驒市古川町式之町6-17  
 連絡先▶TEL:0577-57-7686 FAX:0577-57-7687  
 E-mail:info@hidakuma.com  
 ウェブサイト▶https://hidakuma.com





キーワード  
内発的  
農泊  
遊休施設  
ワーケーション

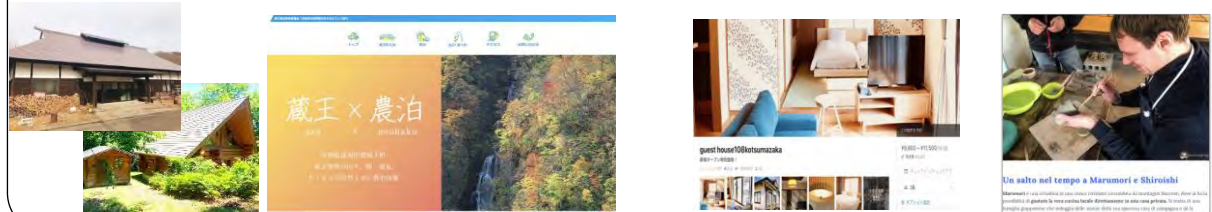
○ 2018年、ブランド力のある観光コンテンツと農泊とを掛け合わせ、新たなコンテンツとして磨き上げ発信し農泊ビジネス実施体制の構築に向け発足。「蔵王福祉の森構想」の取組により、蔵王への定住化・観光・農業振興など多様なメニューを具体化。インバウンドを含め広域から旅行客を集客し、地域の経済発展のための体制、マーケティングの強化に向けて取組む。

## 基本情報

- 所在地：宮城県蔵王町
- 地域指定：中山間地
- 団体名：蔵王農泊振興協議会
- 選定表彰：
  - 「ディスカバー農山漁村の宝」第8回全国選定、日本の棚田100選
- 主力商品・イベント：着付け体験などの体験を受け入れている「山水苑」、温泉風呂付貸切ログハウス「NJ ZAO」
- 活用している地域資源：温泉水、水、間伐材
- 主な国等の支援策：農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

## 取組の概要

- 「蔵王福祉の森構想」の取組により、誰もが安心して暮らすためのセーフティネットの構築。
- 地域資源（温泉水・水・間伐材）の有効活用による再生可能エネルギーと循環型社会の構築。
- 空き家（別荘）の有効活用とバケーションレンタルの実施に伴い、適切な維持管理が業務として、地域の雇用を生み出し高齢者・障がい者の雇用にも寄与。
- 新たなマイクロツーリズム・ワーケーションの導入により、農泊・民泊とインバウンド需要を獲得。
- 体験型複合観光施設「Wiid Zao Village」を開設。地域が抱える問題の解決（地域が抱える問題（負債）を観光客誘致（資産）にスワップ）と地域活性化のハイブリッド戦略を展開。



## 体制図



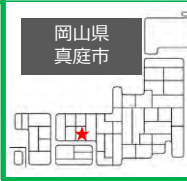
## 取組の成果

- モニターツアーの実施状況（外国人旅行者への周知とともに、農泊施設拡大のため、別荘民泊に興味のあるオーナー候補に広く周知し開業施設拡大を図る。）宿泊モニター数（延べ）46人
- 延べ宿泊者数 0人（2017年）→ 8,500人（2019年）
- 体験プログラム数 0（2017年）→ 15（2019年）
- 宿泊施設数（農泊に関わる新規施設） 0件（2017年）→ 15件（2019年）

所在地▶宮城県蔵王町遠刈田温泉字小妻坂75-31

連絡先▶TEL:0224-34-1192 FAX：0224-34-2869

E-mail:udagawa@zao-sansuien.jp ウェブサイト▶<http://zao-nouhaku.jp/>



キーワード

内発的

木材産業

バイオマス

観光

○木質バイオマスを核として、豊富で多様なバイオマスエネルギー利用、バイオマス産業観光・学習推進による地域ブランドの向上。

## 基本情報

- 所在地：岡山県真庭市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：真庭バイオマス産業都市推進協議会
- 選定表彰：
  - ジャパン・レジリエンス・アワード2016 先進エネルギー自治体大賞金賞 (準グランプリ)、バイオマス大賞グランプリ H25バイオマス産業都市選定
- 主力商品・イベント：木質チップ、バイオマスツアー真庭
- 活用している地域資源：バイオマス
- 主な国等の支援策：森林整備加速化・林業再生基金

## 取組の概要

- 未利用や産廃処理されていた木材を資源として有効活用するために、官民一体となった「木材資源安定供給協議会」を設立。木材購入費のうち、山林事業者へ利益還元する仕組みを構築。
- 地域バイオマスを活用した発電事業を実施。今後は、地域内への電力供給を広げていき、エネルギーの地産地消を展開していく予定。
- また、エネルギー以外の利用として、バイオマスリファイナリー事業も進めているほか、バイオマス利活用の取組を学べる「バイオマスツアー真庭」が開催されるなど、市の様々な産業を巻き込んだ取組を展開。



集積基地

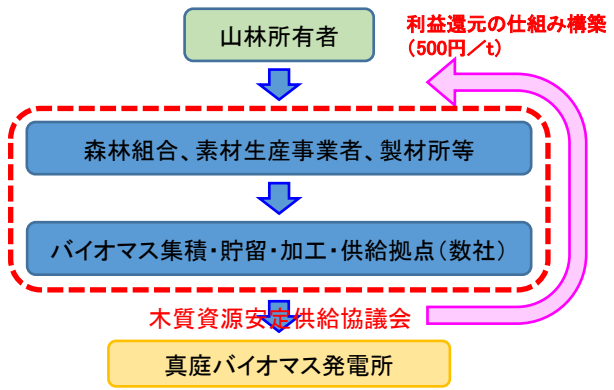


真庭バイオマス発電株式会社  
〈地域関係団体が構成する新会社〉



バイオマスツアー

## 体制図



## 取組の成果

- 約200人の林業・木材関係事業者の雇用拡大
- 経済効果 売上約23.2億円、石油代替 約25.1億円相当
- 年間1億円以上の処理費をかけていた未利用木材が有価で取引  
山林事業者への還元見込額は、約1.6億円
- 年間1,000人以上のバイオマスツアーの参加

所在地▶岡山県真庭市久世2927-2 真庭市産業観光部林業・バイオマス産業課  
 連絡先▶TEL:0867-42-5022 FAX:0867-42-3907  
 E-mail:biomass@city.maniwa.lg.jp  
 ウェブサイト▶http://www.city.maniwa.lg.jp



キーワード

内発的

地域住民

木質エネルギー

ソーシャルビジネス

6次産業化

○平成6年、北軽井沢にキャンプ場をオープン、平成12年に有限会社設立。キャンプ場における地場産木質エネルギーの循環活用を開始。通年の集客数確保と薪の自社生産により雇用の場を創出。

## 基本情報

- 所在地：群馬県吾妻郡長野原町
- 地域指定：山間地域
- 団体名：有限会社きたもっく
- 選定表彰：
  - 第7回関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定 R2年 群馬県6次産業化チャレンジ支援事業 1位
  - H30年「家族で冬キャンプ」東日本マガジ 1位
  - H26年「お勧めのキャンプ場」東日本マガジ 1位
- 主力商品・イベント：自社製薪、冬キャンプ、蜂蜜
- 活用している地域資源：山林、農林水産物
- 主な国等の支援策：地域資源活用事業

## 取組の概要

- 冬期間は休業せざるを得なかったキャンプ場の冬の集客案として、場内の全宿泊施設に薪ストーブを設置。「寒いからこそ楽しめるアウトドア」の提案により、宿泊者の呼び込みや従業員（通年雇用）を創出。
- 地域の豊富な森林資源を活用すべく、採暖や食事づくりで活用する「薪」の生産を自社内で開始。また、アーボリカルチャーを取り入れた計画栽培など地域内木質エネルギーの循環活用への取組。
- 耕作放棄地を再生し養蜂業を開始。地元農家との協業による蜂蜜加工品の企画販売など、ブランド地域農産物の発信。



冬場のアウトドア

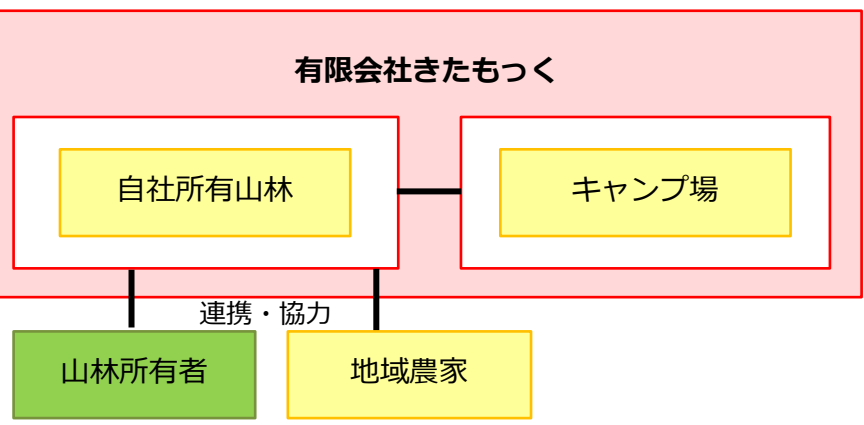


薪はすべて自社生産



養蜂とブランド蜂蜜

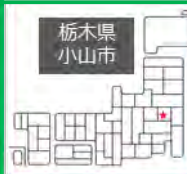
## 体制図



## 取組の成果

- 年間キャンプ場宿泊者数：約7万人（H27）→約8万3千人（R元）
- 従業員数：46人（H12）→113人（R元）
- 年間薪消費量：約863m<sup>3</sup>
- 企業売上：約4.8億円（R元）
- 年間蜂蜜生産量：1.2トン

所在地▶群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢  
 連絡先▶TEL:0279-84-6633 FAX:0279-84-3533  
 E-mail:contacts\_kitamoc@kitamoc.com  
 ウェブサイト▶<https://kitamoc.com/>



キーワード

内発的

JGAP指導員

6次産業化

農福

都市農村交流

○平成11年に会社を設立。いちごの観光資源化を目指しいちご狩り開始。未収穫分は加工販売のほかレストランやカフェも併設し6次化を推進。更には就労継続支援事業により農福連携の取組。

### 基本情報

- 所在地：栃木県小山市大川島
- 地域指定：平地地域
- 団体名：株式会社いちごの里ファーム
- 選定表彰：
  - 第8回「ディスカバー農山漁村の宝」選定
  - 第39回プロが選ぶ観光食事土産物施設100選 (R1)
- 主力商品・イベント：いちご、果実類及び同加工品、観光農園、カフェレストラン
- 活用している地域資源：農林水産物

### 取組の概要

- 県の代表的な作物「いちご」を始めとするフルーツ狩りのほか、収穫しきれなかったいちご等を活用し、ジャムやケーキの製造販売を開始。現在はそれらのほか地元野菜を使った料理を提供するカフェ、レストランを開設。多くの来客数を実現し、売上も向上。また、多くの雇用も創出。
- 平成30年には（一社）いちごの里めぶきファーム（就労継続支援事業所）を開設。令和2年に社会福祉法人「めぶき会」として継承。多くの障害者を雇用し、農福連携農園として地域社会に貢献。
- 平成30年にJGAP認証を取得。食の安全、環境保全、人権と福祉の配慮への取組。



いちご狩りの様子



自社いちごを使用

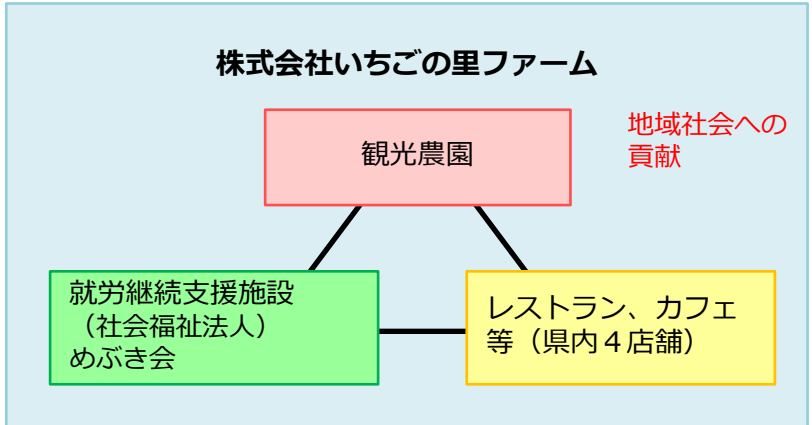


160棟のいちごハウス



農福連携で働く方々

### 体制図



### 取組の成果

- 売上：4.2億円 (H20) → 8.4億円 (R元)
- 来場者数：10万人 (H20) → 16万人 (R元)
- 雇用者数：140人 (R元)
- 障害者雇用人数：40人 (R元)
- 観光農園面積：3ha (H20) → 5ha (R元)



障害者の方々が製造した「ひだまりゼリー」

所在地▶ 栃木県小山市大川島  
 連絡先▶ TEL:0285-33-1070 FAX : 0285-33-1071  
 E-mail:yoyaku@itigo.co.jp  
 ウェブサイト▶ <https://www.itigo.co.jp/>



キーワード  
内発的  
町民有志  
森林セラピー

○森林セラピーを核にした「癒しの森事業」の展開と協定締結による企業誘致・受入。 【森林サービス産業】

## 基本情報

- 所在地：長野県信濃町
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：信濃町、  
しなの町Woods-Life Community
- 主力商品・イベント：  
森林セラピー  
森林メディカルトレーナー認定制度  
癒しの森の宿（認定）
- 活用している地域資源：  
森林



## 取組の概要

- 長野県信濃町では、合併しないまちづくりを選択する中で、地域グループが主体となって「癒しの森」事業を提案。町独自で「森林メディカルトレーナー」と「癒しの森の宿」の育成・認定等を行い、地域の民間のガイドと宿泊施設を主体化。
- 事業化段階の初動期には地域住民向けの健康講座を通して体験プログラムの上質化・ガイドのスキルアップを図り、その後、企業との協定締結を促進し、社員研修・福利厚生等で年間4,000泊を超える需要を創出（現在では35の企業等と協定を締結）。

森ヨガ



アロマ



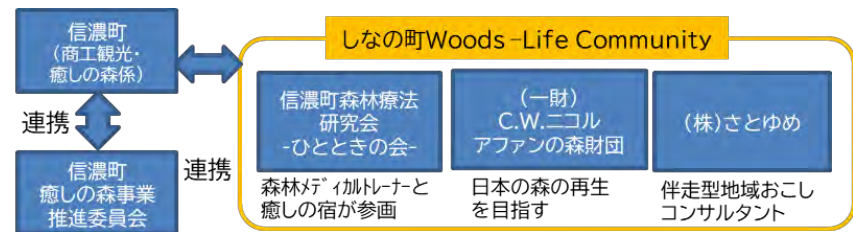
マクロビ弁当



森の中の癒しの空間



## 体制図



森林メディカルトレーナー養成講座 「癒しの森」窓口、顧客受入業務

## 取組の成果

- 森林メディカルトレーナー：講座受講・認定数180人、登録数：16名
- 癒しの森の宿認定数：延べ30軒（2019年度現在14軒）
- 提携企業数：35社
- 宿泊者数：4,000人／年、森林セラピー利用者：6,000人／年
- 地域への経済波及効果：  
直接効果約2億1,890万円/5年間・総合効果3億972万円/5年間

所在地 ▶ 長野県上水内郡信濃町大字大井2742-2041  
 連絡先 ▶ TEL: 026-255-5925 FAX :  
 E-mail: shinanomachi.wic@gmail.com  
 ウェブサイト ▶ <http://iyashinomori.main.jp/>

# スポーツと連携した農山漁村発イノベーションの事例

## 高知ファイティングドッグス（高知県越知町ほか）

半農半X（スポーツ）を実践する企業により地域農業を振興



球団オリジナルのショウガの植付け



地元保育園児・幼稚園児との交流

- ・ 地元農家から耕作放棄地を借り受け、選手が練習の合間に野菜の栽培、加工等を行い、球団が買い取って販売。選手引退後のセカンドキャリア支援や地域の農業振興に貢献。
- ・ 地域の保育園児・幼稚園児との田植え・稲刈り体験など、交流・地域活性化にも貢献。

## 空中の村（奈良県十津川村）

森林を活用したアウトドア施設の整備



フランス技術者によるツリーハウス製作



憩いの場の提供

- ・ フランスから来日した地域おこし協力隊が、村の森林を活用した森林アスレチック施設を整備。
- ・ 村の木材や地元食材を使った弁当等の提供のほか、地域の旅館とも連携し誘客を促進。
- ・ Wi-Fi等も備えており、ワーケーション利用も可能。